

貯法	25℃以下
----	-------

	S	L
承認指令書 番号	3動薬第 627号	3動薬第 628号
販売開始	2018年11月	

要指示医薬品 指定医薬品

フォルテコール®プラスS

フォルテコール®プラスL

犬の僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全は、利尿剤、ACE阻害剤及び強心剤の3剤による治療が標準的とされており、この為、投与される薬剤の錠数の多さや薬剤の大きさなどが、投薬コンプライアンスの課題となっている。フォルテコールプラスは、このようなコンプライアンスの改善を図ることを目的にベナゼプリル塩酸塩（アンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害剤）とピモベンダン（強心剤）を配合した2層構造の製剤で、エランコアニマルヘルス社で開発された。本剤は、一度に投与する錠数を減らし、製剤の小型化により、これまで慢性心不全の犬の飼い主が同時に数種類の薬を一度に投薬する苦労やストレスを軽減し、投薬コンプライアンス向上により犬の慢性心不全治療の適切かつ継続的治療を容易にするための初めての犬の慢性心不全用配合剤である。

【成分及び分量】

1錠中にそれぞれ次の成分を含有

	ベナゼプリル 塩酸塩	ピモベンダン
フォルテコールプラスS	2.5mg	1.25mg
フォルテコールプラスL	10mg	5mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善

【用法及び用量】

体重1kgあたり1日量ベナゼプリル塩酸塩として0.5～1mg、ピモベンダンとして0.25～0.5mgを1日2回に分けて、朝夕おおよそ12時間間隔で経口投与する。体重別には、次の投与量による。

体 重 (kg)	フォルテコール プラスS		フォルテコール プラスL	
	午前	午後	午前	午後
2.5 kg以上 5.0 kg未満	0.5錠	0.5錠		
5.0 kg以上 10.0 kg未満	1錠	1錠		
10.0 kg以上 20.0 kg未満			0.5錠	0.5錠
20.0 kg以上 40.0 kg未満			1錠	1錠

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は高温を避けること。
- ・分割した錠剤は気密容器に入れて保管し、1日以内に使用すること。
- ・変色が認められた場合には使用しないこと。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤の有効成分であるピモベンダン又はベナゼプリル塩酸塩に対し過敏症の人は本剤への接触を避けること。
- ・妊婦は誤って本剤を飲み込むことがないように特に注意を払うこと。本剤の有効成分であるアンジオテンシン変換酵素阻害剤は妊娠中胎児に影響を与えることが知られている。
- ・使用後は手を洗うこと。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①禁忌

- ・肥大性心筋症あるいは機能的又は解剖学的に心拍出量の増加が見込めない症例（例えば、大動脈弁狭窄症）には用いないこと。
- ・僧帽弁閉鎖不全による心不全症状の治療に際しては、ACE阻害剤単独での治療が可能な段階においては本剤を第一選択としないこと。

②対象動物の使用制限

- ・本剤は体重2.5kg又は4ヵ月齢未満の犬には投与しないこと。
- ・妊娠犬及び哺乳犬に対する安全性は確立されていないので、妊娠中及び授乳中の犬には投与しないこと。やむを得ず、授乳中の犬に投与する場合には、授乳を中止すること。
- ・本剤に対し過敏症の犬には投与しないこと。
- ・低血圧、循環血流量減少又は急性腎障害を示す犬には使用しないこと。
- ・重度な肝障害を有する犬には用いないこと。

③重要な基本的注意

- ・本剤は配合剤であるので含有される各有効成分をその用量で併用することが必要とされる犬にのみ使用すること。
- ・本剤はACE阻害剤単独で治療を開始し、心不全症状の改善を確認していき、ピモベンダンの併用が必要と判断された段階で使用すること。
- ・本剤は食餌のおおよそ1時間前に投与すること。
- ・必要により適切な対症療法（利尿等）を行うこと。
- ・慢性腎臓病の犬には本剤の投与を開始する前に脱水の程度をチェックし、投与期間中は血中クレアチニン濃度及び赤血球数をモニターすることが推奨される。

④相互作用

- ・カリウム保持性利尿剤を併用すると腎機能低下動物では血清カリウム値が上昇することがあるので、カリウムの保持を要する犬には本剤投与のリスクとベネフィットを考慮し、投与の可否を獣医師が適切に判断した上で投与すること。
- ・非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用は本剤の降圧作用を減弱させることがある。
- ・他の血圧降下剤（利尿剤、ベータ遮断剤、カルシウム拮抗剤）や降圧作用のある麻酔剤と併用すると本剤の降圧効果が高まることがある。
- ・本剤による心筋収縮はカルシウム拮抗薬のベラパミルやβ拮抗薬のプロプラノロールで減弱する。

⑤副作用

- ・本剤の投与により、嘔吐、軟便、下痢がみられることがある。
- ・ピモベンダンの投与により、まれに軽度の頻脈がみられることがある。この作用は用量依存性であるため、ピモベンダンの投与量を減じることで避けられることがあり、必要に応じてACE阻害薬単剤又はピモベンダン単剤の適切な量との組み合わせによる投与に切り替えることを検討すること。

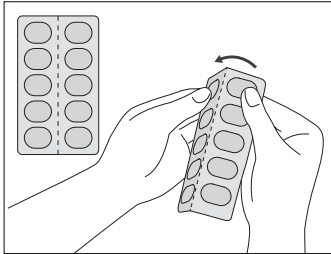
⑥過量投与

- ・ベナゼプリル塩酸塩を誤って過量投与した場合、一過性かつ可逆性の低血圧症が起こる可能性がある。

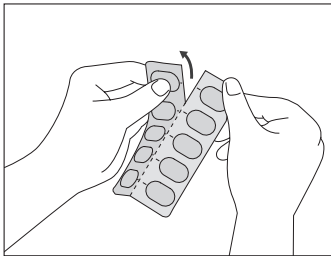
〔フォルテコールプラスの錠剤取り出し方〕

フォルテコールプラスは、子供の誤飲防止対策（チャイルドプルーフ）の錠剤包装です。錠剤を取り出す方法は下記1～5の手順に従って下さい。

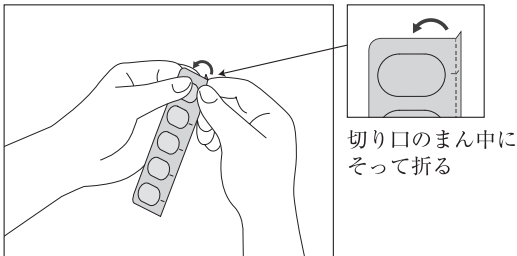
1. シートのまん中の切り取り線にそって折る



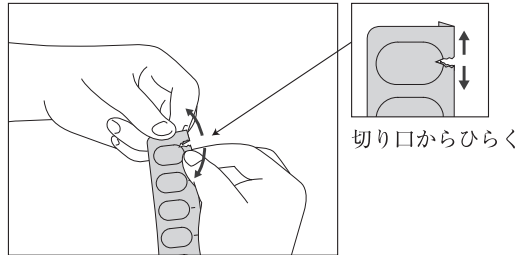
2. シートを2つに切り離す



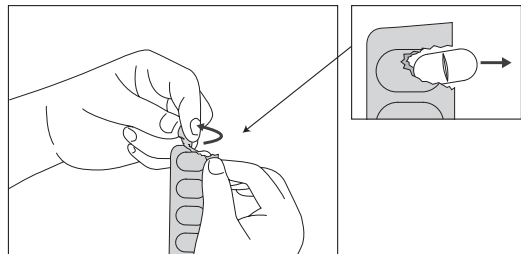
3. 切り取った側の内側約2～3mmのところを折りこむ



4. 折ったところの切り目から、図のように2つに切りひらく



5. 切りひらいたところから錠剤を取り出す



【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社 製品お問い合わせ窓口
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号

TEL：0120-162-419

月～金/9時～12時、13時～17時（祝祭日及び会社休業日を除く）

製造販売業者（輸入発売元）

エランコジャパン株式会社
東京都港区赤坂四丁目15番1号

フォルテコール、Elanco 及び ：エランコ又はその関連会社の商標です。

© 2026 Elanco or its affiliates

Elanco™

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。